プロアクティブ診断サービス
ご利用手順書（CLUSTERPRO X 5.0 以前）

1. はじめに

プロアクティブ診断サービスをご利用いただきありがとうございます。 本手順書では、プロアクティブ診断サービスのご利用手順ついて説明いたします。

> ・本手順書では CLUSTERPRO X 5.0 以前のバージョンを対象としています。
> CLUSTERPRO X 5.1 以降をご利用の場合は「プロアクティブ診断サービス ご利用手順書（CLUSTERPRO X 5.1 以降）」を参照してください。
> ・本手順書では CLUSTERPRO X SingleServerSafe も対象としています。読み替えて参照してください。

2. ご利用の流れ

下記の流れで診断を実施いたします。*※[]内の番号は後述の手順の番号です。*



3. ご利用手順

3.1 CLUSTERPRO の設定確認と変更（初回のみ）

- 診断を行うための準備として CLUSTERPRO 側の設定確認と変更を行います。ご使用中の CLUSTERPRO のバージョンによって手順が一部異なります(後述の 4〜6 の手順)。

機能	機能を利用可能な CLUSTERPRO バージョン
クラスタ統計情報採取機能	CLUSTERPRO X **4.1** 以降
ミラー統計情報採取機能	Linux: CLUSTERPRO X **3.1** 以降 Windows: CLUSTERPRO X **3.3** 以降
システムリソース統計情報採取機能	Linux: CLUSTERPRO X **4.1** 以降 Windows: CLUSTERPRO X **4.2** 以降

- 以下の手順で実施してください。

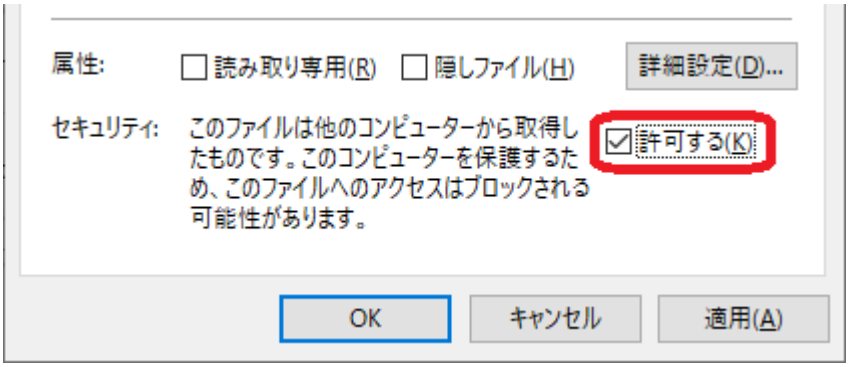
  1. Cluster WebUI / WebManager を開きます。
     - CLUSTERPRO X 4.1 以降: Cluster WebUI
     - CLUSTERPRO X 4.0 以前: WebManager
  2. [設定モード] に変更します。
  3. [クラスタプロパティ] を開きます。
  4. クラスタ統計情報採取機能の有効化状況を確認します。
     ※機能を利用可能な CLUSTERPRO バージョンの環境のみ実施してください
     1. [拡張] タブを開きます。
     2. [クラスタ統計情報] 配下の全てのチェックボックスが ON になっていることを確認します。（OFF になっている場合、ON に変更してください）
  5. ミラー統計情報採取機能の有効化状況を確認します。
     ※"機能を利用可能な CLUSTERPRO バージョン" かつ "ミラー/ハイブリッドディスク型クラスタ" の環境のみ実施してください。(CLUSTERPRO X SingleServerSafe 環境では確認不要です)
     1. [ミラーディスク] (Windows版) / [ミラーエージェント] (Linux版) タブを開きます。
     2. [統計情報を採取する] チェックボックスが ON になっていることを確認します。（OFF になっている場合、ON に変更してください）
  6. システムリソース統計情報採取機能を有効化状況を確認します。
     ※機能を利用可能な CLUSTERPRO バージョンの環境のみ実施してください
     1. [監視] タブを開きます。
     2. [システムリソース] - [システムリソースを収集する] チェックボックスを ON にします。
  7. [OK] ボタンをクリックします。
  8. [設定の反映] ボタンをクリックします。
  9. Cluster WebUI / WebManager の指示に従い設定反映時動作を実行します。

  以上で設定確認と変更は完了です。

3.2 追加ログ採取ツールのインストール

以下の手順で実施してください。

1. 下記 Web サイトから最新版のツールをダウンロードします。
    - プロアクティブ診断サービスのご利用について (https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140110559)
        - [ダウンロード] - [関連ファイル]
            - 追加ログ採取ツール（Windows版）
                - clplogplus.zip
            - 追加ログ採取ツール（Linux版）
                - clplogplus.tar.gz
2. ダウンロードしたファイルのブロック設定を解除します（Windows版のみ）。
    - zipファイルのプロパティを開き [セキュリティ:] の項目が表示されている場合、許可を行いブロックを解除します。



3. クラスタサーバ上の下記ディレクトリに、追加ログ採取ツールの圧縮ファイルを展開します。
    - Windows の場合：<CLUSTERPROインストールパス(*)>\bin\clplogplus.bat
    - Linux の場合：<CLUSTERPROインストールパス(*)>/bin/clplogplus.sh
4. 以上でこのサーバでのインストールは完了です。
5. 以上を**全てのクラスタサーバで実行してください。**

CLUSTERPRO X 4.3 以降をご利用のお客様で、上記最新版をダウンロードできない場合は、以下のパスにインストールされたツールをご利用ください。

- Windows の場合：<CLUSTERPROインストールパス(*)>\bin\clplogplus.bat
- Linux の場合：<CLUSTERPROインストールパス(*)>/bin/clplogplus.sh

(*) 既定の CLUSTERPROインストールパス は以下です。

- Windows の場合：C:\Program Files\CLUSTERPRO
- Linux の場合：/opt/nec/clusterpro

3.3 ログ採取

3.3.1 各サーバでのフェイルオーバグループの起動 (構築中のシステムのみ実施してください)

各サーバでの動作状況を CLUSTERPRO のログに記録するために、全てのフェイルオーバグループを各サーバ上で一度は起動します。以下の手順で実施してください。

1. フェイルオーバグループを起動するサーバ上で、管理者権限のコマンドプロンプト(Windows) / root権限のコンソール(Linux) を起動します。
2. 以下のコマンドを実行して、フェイルオーバグループを起動(手動フェイルオーバ) します。
    - ```
      clpgrp -s -f
      ```
      ```

3. 以下のコマンドを実行して、フェイルオーバグループが起動したことを確認します。後述の （clpstat コマンドの出力例） をご参考にしてください。
    - clpstat
    - （clpstat コマンドの出力例）サーバ server2 でフェイルオーバグループ failover1, failover2 が起動している場合

```
> clpstat
 ==================  CLUSTER STATUS  ======================
  Cluster : cluster
  <server>
    server1       : Online
      lankhb1     : Normal           LAN Heartbeat
      lankhb2     : Normal           LAN Heartbeat
      pingnp1     : Normal           ping resolution
   *server2       : Online
      lankhb1     : Normal           LAN Heartbeat
      lankhb2     : Normal           LAN Heartbeat
      pingnp1     : Normal           ping resolution
  <group>
    failover1 ....: Online   ← failover1 が起動(Online)
      current     : server2  ← failover1 の起動サーバが server2
      appli1      : Online
      fip1        : Online
      md1         : Online
    failover2 ....: Online   ← failover2 が起動(Online)
      current     : server2  ← failover2 の起動サーバが server2
      script1     : Online
      md2         : Online
  <monitor>
```

4. 以上を**全てのクラスタサーバで実行してください。**
5. 上記を実施後、必要に応じてフェイルオーバグループを元のサーバで起動します(元のサーバに戻します)。

3.3.2 追加ログ採取ツールの実行

[3.2 追加ログ採取ツールのインストール] でインストールした追加ログ採取ツールを管理者権限で実行します。

- **Windows の場合**

1. エクスプローラーより <CLUSTERPROインストールパス>\bin のフォルダを開きます。
2. 追加ログ採取ツール(clplogplus.bat) の右クリックメニューより[管理者として実行]をクリックします。
3. 下記のメッセージが表示されれば完了です。

```
Success: Please collect following file(s).
->【圧縮ファイル名】
```

    - 完了するまでに数分かかる場合があります。完了するまでお待ちください。
4. 【圧縮ファイル名】のファイルを採取してください。
    - 圧縮ファイルは既定では <CLUSTERPROインストールパス>\tmp フォルダ配下に出力されます。
        - ファイル名の形式：logplus__<サーバ名>で始まる zip/cab 形式のファイル
    - 採取データサイズに応じて、複数の圧縮ファイルが出力される場合があります。
    - 前回の圧縮ファイルがある場合、上書きされます。
    - 下記のメッセージが表示されますので、[Enter]キーを押してツールを終了します。

```
Press any key to continue . . .
```

5. 以上を**全てのクラスタサーバで実行してください。**

- **Linux の場合**

1. コンソールより <CLUSTERPROインストールパス>/bin のディレクトリへ移動します。
2. 追加ログ採取ツールをroot権限で実行します。
    - `./clplogplus.sh`
3. 下記のメッセージが表示されれば完了です。

```
Success: Please collect following file.
->【圧縮ファイル名】
```

    - 完了するまでに数分かかる場合があります。完了するまでお待ちください。
4. 【圧縮ファイル名】のファイルを採取してください。
    - 圧縮ファイルは既定では <CLUSTERPROインストールパス>/tmp ディレクトリ配下に出力されます。
        - ファイル名の形式：logplus__<サーバ名>で始まる tar.gz 形式のファイル
    - 前回の圧縮ファイルがある場合、上書きされます。
5. 以上を**全てのクラスタサーバで実行してください。**

3.4 PP・サポートサービス窓口へ送付

- [3.3 ログ採取] で採取した以下ファイルを、PP・サポートサービス窓口へ送付してください。
    - 追加ログ採取ツールで取得した圧縮ファイル（全てのクラスタサーバ分）
- 送付時の [件名], [お問い合わせ内容] に 診断 や プロアクティブ診断 等の文言を含めていただけると、やりとりがスムーズになります。
- ログをPP・サポートサービス窓口にご送付いただいた後、診断レポート返送までの期間は **おおよそ1週間程度** となります。

3.5 診断レポート返送

1. 診断結果のレポートを NEC サポートポータル MyDashboard 及び NEC サポートポータルの診断レポート専用ページ に掲載の上、お客様にご連絡いたします。
2. 以下のいずれかよりレポート内容についてご確認ください。必要に応じて、設定変更もご検討ください。
    - 以下より NEC サポートポータル MyDashboard へログインして診断レポートをご確認いただけます。
        - https://mydashboard.support.nec.co.jp/
            - プロアクティブ診断レポート パネル(ページ下部) へスクロール
                - 参照したい クラスタ名 をクリック
                    - 参照したい診断日の レポート をクリック
        - (ご参考) NECサポートポータルMyDashboardのご利用について
            - https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3030100357
    - お客様へご連絡した内容に記載の NEC サポートポータルの診断レポート専用ページの URL にアクセスして診断レポートをご確認いただけます。

> 💡 最新の CLUSTERPRO アップデート(セキュリティアップデート含む) への対応や経年によるクラスタシステムの負荷状況の変化等を確認いただくために、定期的に診断することを推奨いたします。

以上です。